

## 第5回 葛城市地域公共交通活性化協議会 会議録

開催日時 平成27年1月27日(火) 午後1時

開催場所 葛城市役所新庄庁舎 4階401会議室

欠席者 寺嶋委員、吾妻委員、吉川修委員、中村委員、岡川委員、井村委員  
山下博委員、千ヶ崎委員

### 議事

#### 1 開 会

#### 2 会長挨拶

- 昨年より葛城市のバス網の構築ということで奈良交通さんと色々と協議をさせていただいて、最終的に忍海から屋敷山を通り大和高田市へ行く路線は廃止となりました。それに替わるものとして、今代替的に市が奈良交通さんへ委託して、便数は若干減らしながらも走らせていただいております。
- 引き続き、新しい交通網ができるまでは奈良交通さんをお願いをして同じような形態で走らせていこうということで、この間も新年の挨拶に奈良交通さんへお伺いさせていただいて、奈良交通の社長さまとお話をさせていただいたところでございます。
- 今皆さまにお諮りをしていることは、新しい交通網をどうしていくのかということです。
- 有料化していくのかどうしていくのか、一度住民の皆さまの意見を聞いていこうということで、昨年12月にアンケートを取らせていただきました。その集計が出てまいりまして、ある程度の方向性が見えてきたのかなという風にも思います。
- 昨年協議会を開催したところ、コンサルタントにお任せをしてある程度の絵を書いてもらう、アンケートの集約、またこれからのバス網についてのノウハウをいただくということで予算だて、それとコンサルタント会社に対する契約の了承をいただいたところでございました。
- 長大さんに入っただきながら進めさせていただいております。
- 今からは去年取ったアンケートの中身のご紹介、それと問題事項の整理をしていこうという会議になろうかと思っております。
- これからのスケジュール感でいうと、2月の末にある程度の路線であったり、方向性、料金をいただくのかどうかということも含めて皆さま

にお示しをして了承を得られれば、それで次の段階、国の方に申請をしていくということになってこようかと思えます。

- 今、まだ葛城市の方では細かなバス網というところと、タクシー等を利用したオンデマンドも利活用しながら、住民の皆さまにどれだけ利便性を高めて、なおかつ市民からの出費も少なく、市からの出費も少ないような方法をどうやって構築していくのかということを考えてまいりたいという風に思いますので、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。
- 以上で挨拶に代えさせていただきます。

(事務局)

- 議事に入ります前に委員のご紹介を申し上げます。
- 前回より葛城市議会より下村議長でございます。次に西井総務建設常任委員会委員長でございます。よろしくようお願い申し上げます。

(事務局)

- それでは、協議会規約の第9条第1項の規定によりまして、山下会長が会議の議長となりますので、議事進行、よろしくお願いたします。

### 3 報告案件

「(1) 公共交通に関するアンケート調査業務委託について」

(議長)

- 報告案件(1)「公共交通に関するアンケート調査業務委託について」事務局より説明をお願いします。

(事務局)

- まず、前回の協議会にてアンケート調査業務を委託する業者選定、アンケート調査内容の最終決定については事務局一任とご了承いただきましたので、そのことについてご報告いたします。
- 前回の協議会を経まして、早急に「公共交通に関するアンケート調査事業指名型プロポーザル」を実施いたしました。
- プロポーザル参加依頼を3社に行い、1社が参加、2社が辞退という結果でございました。辞退理由といたしましては、「業務を行う十分な体制が確保できないため」ということでした。
- この参加1社について審査した結果、審査基準を満たしていただきましたので委託先として決定いたしました。
- 委託業者は株式会社長大さんでございます。会社概要については、資料1をご覧ください。
- 本業務と同様の業務を近隣では斑鳩町や香芝市で行っておられます。

○次に実施しましたアンケート調査については、協議案件（３）の方で詳しくご説明いたしますので、ここでは割愛させていただきます。以上です。

（議長）

○ただいま事務局より説明がございました。株式会社長大さんにコンサルタントを決めさせていただいたということでございます。何かご意見、ご質問等ございませんか。

（議長）

○ないようでしたら、次の協議案件に移りたいと思います。

#### 4 協議案件

「（１）平成２６年度補正予算（案）について」

（議長）

○次に協議案件（１）「平成２６年度補正予算（案）について」事務局より説明を求めます。

（事務局）

○資料２をご覧ください。

○資料２を読み上げにて説明。

○補正予算４，７６４，０００円につきましては、１２月の市議会におきましてご承認いただきましたことから、今回、本協議会の予算補正をさせていただくこととなりましたので、よろしく願いいたします。

（事務局）

○次に、ここで、ご審議いただきたい案件がございます。

○只今説明申し上げた、基本計画策定について、今年度中、３月までに策定する必要があるため、まことに期間の無い中で、既にアンケートを回収・分析をし、引き続き基本計画策定をする数々のノウハウを持たれていることもあり、今後スムーズに無理なくできるのではないかとということで、引き続き同じ株式会社長大さんをお願いしたいと考えておりますので、この件について、ご審議のほど、よろしく願いいたします。以上です。

（議長）

○事務局より急遽、追加の案件がございましたが、まず１番目の「平成２６年度補正予算（案）について」のご審議でございます。このことにつきまして、何かご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

（議長）

○ないようでしたら、「平成２６年度補正予算（案）について」は、承認されました。案の字を取っていただき、決定事項とさせていただきます。

たいと思います。

(議長)

- 続きまして、事務局から基本計画策定については、アンケート調査でもお願いをし、株式会社長大さんに引き続きお願いをしていきたいという案でございますけれども、このことについて何かご質問等ございませんでしょうか。
- よろしければ引き続き株式会社長大さんをお願いをしていくというところでご異議ございませんか。

(「異議なし」の声)

(議長)

- 異議なしということでございますので、株式会社長大さんをお願いをしていくということで承認をされました。

「(2) 葛城市の地域及び公共交通に関する現状について」

(議長)

- 次に協議案件(2)「葛城市の地域及び公共交通に関する現状について」事務局より説明を求めます。

(事務局)

- 資料3をご覧ください。
- 資料3について、株式会社長大さんの方から説明をお願いいたします。

(株式会社長大)

- 資料3を読み上げにて説明。

(議長)

- 公共交通に関する現状、人口状態、どの辺りに高齢者が偏在しているか、公共交通の電車・バスそれぞれの空白地帯等を示していただいたわけですが、これにつきまして、何かご質問等ございますでしょうか。

(吉川正委員)

- 乗降客数に近鉄新庄駅が入っていないが。

(議長)

- 特徴的な駅で出しており、尺土駅、大和新庄駅、近鉄忍海駅の3点を出しています。
- また、これは乗降客数ではなく、乗車数であると思いますが。

(株式会社長大)

- 一般的に出ているデータとしては乗車人数で、乗降客数は間違えて、乗客数でございます。申し訳ございません。

(福罵委員)

○乗降客数ですと、およそ4,500人ほどです。

(議長)

○これは実態であり、これを踏まえてバスをどう走らせていけばよいのかというバックボーンになるわけでございます。

「(3) 公共交通に関するアンケート調査結果について」

(議長)

○次に協議案件(3)「公共交通に関するアンケート調査結果について」事務局より説明を求めます。

(事務局)

○先ほど、報告案件のところでご説明を割愛させていただきましたアンケート調査でございますが、去年の12月8日から26日におきましてアンケート調査をさせていただきました結果を株式会社長大さんに回収および分析をお願いしておりますので、株式会社長大さんの方から説明をお願いいたします。

(株式会社長大)

○資料4-1はアンケート調査結果のポイント、資料4-2はアンケート調査結果、資料4-3-1および4-3-2は送付したアンケート調査票となっております。

(議長)

○アンケート調査票については前回に皆様にお示しをさせていただいております。

(事務局)

○前回協議会にてご指摘のあった事項を反映させたアンケートを配布しており、今回お渡しているアンケートはその反映させたものとなっております。

(株式会社長大)

○資料4-1を読み上げにて説明。

(議長)

○3,000世帯に出して30%以上の回答があったということです。回答数は1,845人と結構な数を返信いただいていると思います。

○このことについて、何かご質問等ございませんでしょうか。

(議長)

○買い物需要が多く、大阪や商業地である大和高田市さんや橿原市さんと比べると葛城市は商店街がないというところで、ちょっと大きめのスー

パーに行くといった需要が市内・市外問わず多い。それに次いで通院と  
なっています。

- 公共施設では、ゆうあいステーションに行かれる方が圧倒的に多いとい  
う風になっています。
- 葛城市の場合、自動車の保有台数、人口当たりの保有台数がかなり高い  
地域だと思います。というのも、都市部と比べると、一つ一つの施設の  
距離が遠かったり、車がないと何もできないという地域でありますので、  
保有台数が多い。
- 今、運転できる年齢であるならばずっと運転し続けていきたいという思  
いはあるんだろうと思いますが、高齢化率が10年後近くなると28%  
となるであろうという中で、今は運転できるけれども危なくなってきた  
家族から運転をやめてと言われる方々の人口も増えてくる中で、本人は  
こう思っただけだけれども、その通りにはなかなかいかないという  
ところもあると思います。
- その代替交通としてどういう風にしていくのか、ということも見えてく  
るところもあると思います。

(伊藤委員代理)

- 4ページのところで、自分で運転が57%、送迎が14%、自動車で移  
動というのが合計で約7割となっているので、ここはポイントとして押  
さえておく必要がある。
- 9ページのところで一番問題となると思う所が「バス路線・バス停・運  
行時間が分からない」という方が21%もいらっしゃる。その方々がコ  
ミバスの改善策も分からない、出せないという状況にあるのではないか。
- 以上の点を、結果ポイントとして示した方が良いのではないか。

(議長)

- 情報は公開されているけれども、それを知らない人の方が多いという現  
状があると。
- 送迎も含めると7割ぐらいの方々が自家用車で移動されている。そのほ  
とんどがバスのことについては知らないということですね。
- これらを解決する手段を、これを機に考えていくべきではないかという  
ことですね。認知をしてもらえる手段を考えないといけない。
- 3割7割の原則というのがあり、どれだけ広報したとしても3割の人に  
しか情報は伝わらないという実験のデータもありますので、至難の業だ  
とは思いますが、それでも最低でも3割の方々に認知度を上げて  
いく。
- ものが動き出して活発化していくと、組織の中の2割の人間がそれを知  
って動き出すと周りが何かあると、気になるということもあるそうです

ので、その辺りも事務局で案を考えて認知度を上げる方策を考えていただきたい。

- いろんな場面でバス路線のタイムスケジュールみたいなものを配っていくとか。例えば、各種イベントでの広報や市役所の出入口にダイヤを掲示するなどが考えられる。

(森口委員代理)

- ニーズの矢印と実際の矢印を見比べていけば、どちらのルートにどれだけのニーズがあるので、たとえば便数・本数を考えていく上で、見えてくるものもあるのではないか。
- 便数の見直し時などのときに、実際に各コミバスのそれぞれのバス停でどれだけ乗っているか、その人たちがどこに行っているかという細かなデータがあれば、これから皆さんで話し合っていくときに実際、特にミニバスがアンケートで13%と格段に他のコミバスと比べて使われている率が少ないということもありましたので、トータルで見るのも一つですが、個々のコミバスでどういった地域の方がどれくらい乗っているかというの現状を把握し、情報を共有する必要があると思います。

(議長)

- ただいま提案いただいたことについて、事務局どうですか。

(事務局)

- 今の質問にありましたように、南、北、東、西と分けますと当然、北の方の動向、南の方の動向はある程度は把握しており、次回の時にお渡しできるかと思っております。

(議長)

- 2月の段階になると、骨格ですけれどもある程度の路線の骨を出していないといけない。その時にその資料に基づいて作っていくことだと思います。

(八伏委員代理)

- 年代別の目的、頻度のデータをお示しいただきたい。
- アンケート用紙に1番目、2番目、3番目として具体的な移動場所として質問の内容に入っているので、病院はどこが多い、スーパーはどこが多い、駅はどこなのかということについて示していただければと思います。
- 自由意見の中に貴重な意見がある場合が多いので、それを提出いただければと思います。

(議長)

○細かな資料を2月の会議までに用意ができるのであれば各委員さんのところへお届けしてください。

○2月の会議までにその資料に目を通していただいた上で会議に臨んでいただいた方が、ここに来て説明を受けて議論するというようなことがないように、予め資料が整った段階で皆さんのところにお届けして、資料を見ていただいた上で、次の議論をしていくということで、事務局お願いします。

(事務局)

○分かりました。

(議長)

○さきほどのミニバスの件ですが、特に道路が狭い、人口が少ないところを走っている状況ですので、認知度も少ない、北側の方や中頃の方々はミニバスを知らないということもあろうかと思えます。

○葛城号の補完措置としてできたもので、圧倒的に知らないということであらうと思えます。

○それも含めて解決策、包括的にどういうものがよいのかを考えていくべきであらうと思えます。

## 5 今後のスケジュールについて

(議長)

○次に「今後のスケジュールについて」事務局より説明をお願いします。

(事務局)

○資料5をご覧ください。後のスケジュール（案）

○資料5を読み上げにて説明。

(議長)

○2月の第6回の協議会の日程についてですが、2月27日（金）午後1時で開催したいと思います。

○ほかにないようでしたら、以上をもって、第5回葛城市地域公共交通活性化協議会を閉会します。ありがとうございました。